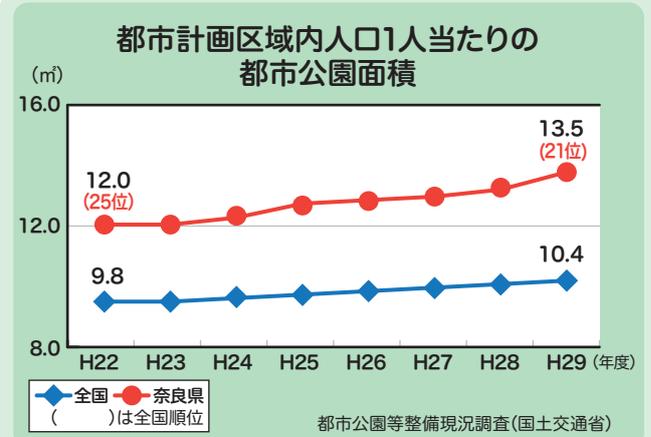
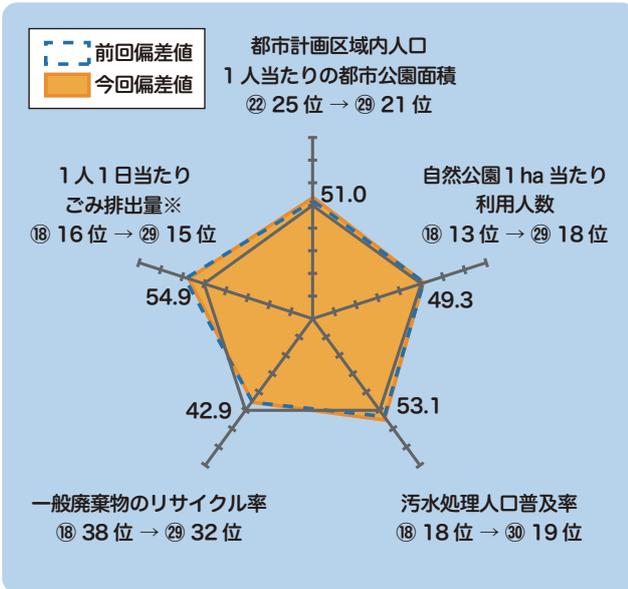
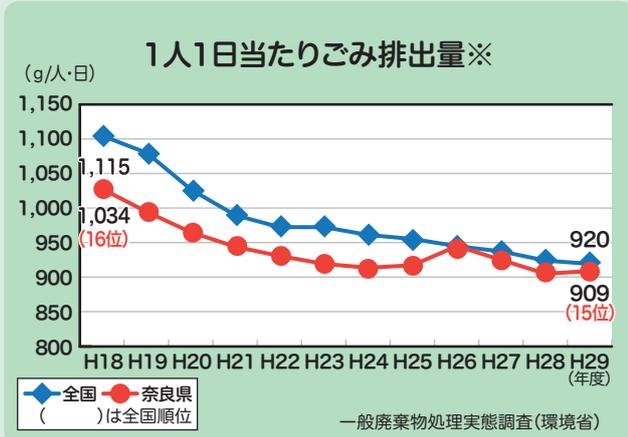




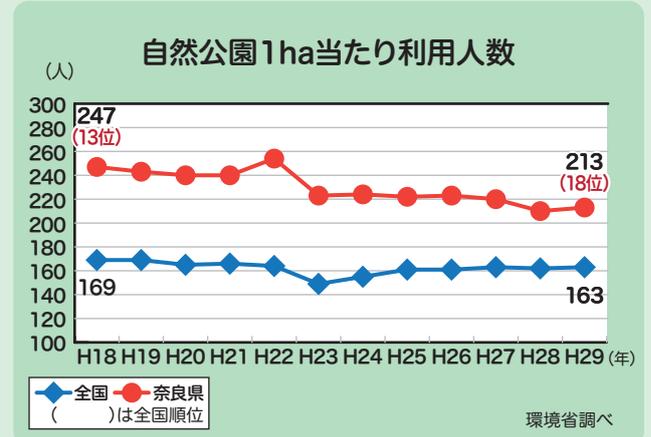
7. 「きれいな奈良県」づくり



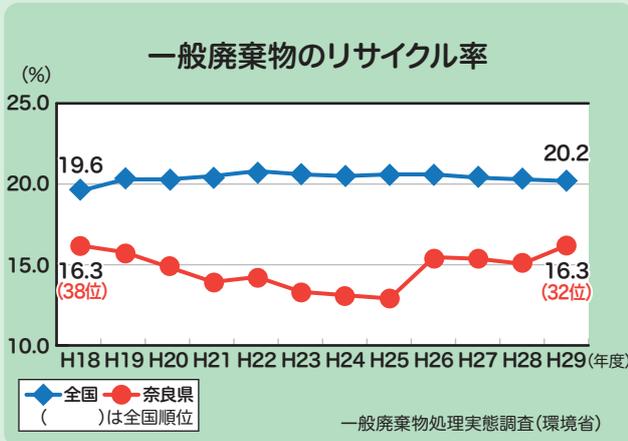
都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は順調に増加しており、全国平均を上回っています。



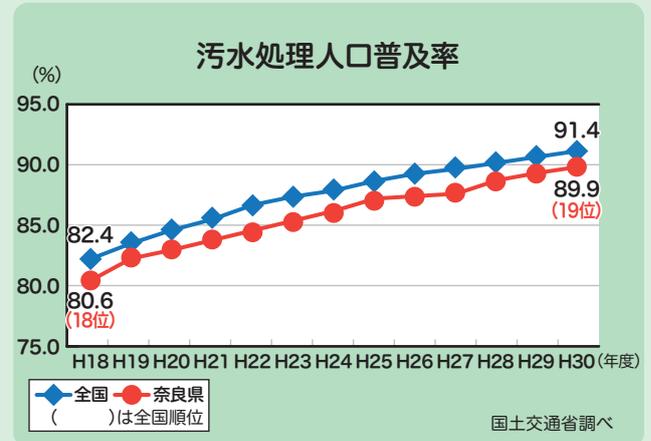
平成29年度の1人1日当たりごみ排出量は909gで、前年度から0.4%増加しましたが、過去10年間では6.1%の減少傾向にあり、全国平均と同程度となっています。



自然公園1ha当たり利用人数は、200人から250人の間で推移しており、全国平均を上回っています。



一般廃棄物のリサイクル率は、平成26年度以降上昇傾向にあるものの、全国平均よりも低くなっています。



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、汚水処理人口普及率は着実に上昇しています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



(42) なら四季彩の庭づくりの推進

これまでは

「奈良県を『一つの庭』と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくり」を理念として、なら四季彩の庭づくりを推進してきました。

作庭方針

- 調和のとれた「一つの庭づくり」…小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
- 地域の景観資産を活かした庭づくり…水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
- 四季折々の彩りの庭づくり…四季を感じさせる植物種の選択等
- 人が楽しむ庭づくり…見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
- 庭づくりを続けるために…様々な主体による連携・協働

小庭(エリア)整備計画

- 県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
- 全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
- 具体化が進むと作庭処方図を作成(現在264箇所)

もっと良くするために

「(仮称)なら四季彩の庭づくり条例」を令和2年に制定し、庭づくりを体系的・継続的事業として推進します。

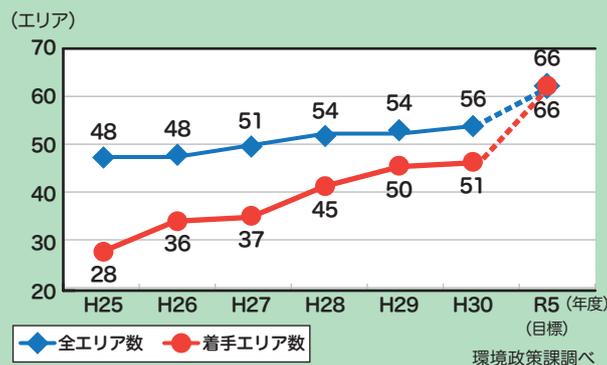
目指す姿

令和5年度までに奈良県植栽計画のエリア数を66エリアに増やし、全エリアにおいて事業着手します。

奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭づくり」)が平成25年度に策定されてから、選定されたエリアが増えているね。奈良らしいきれいな植栽景観をつくろうとする取組が、県全体に広がっているんだね。



奈良県植栽計画のエリア数・着手エリア数(累計)



住む人も訪れる人も楽しめる植栽景観をつくるため、全てのエリアでの事業着手を目指して、市町村や住民等との協働を進めます。ふるさとの景観づくりの主役は私たち一人です。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進	新規エリア等の検討・計画、事業推進、好事例集の作成、市町村・住民等との協働スキームの構築・推進		
	植栽等による景観の向上に取り組む市町村等に対し技術・財政支援		
普及・啓発	シンボルマークプレートの設置、ジャーナルの発行、ホームページの運営		



(43) 大和川のきれい化

これまでは

市町村と連携し、地域住民等の主体的な参加・協力を得ながら、大和川の水質改善、きれいな水辺空間づくりを進めてきています。

大和川の水質は、下水道の整備等により環境基準(BOD値5.0mg/L)を達成し、改善傾向(BOD値¹⁹4.7mg/L→³⁰2.2mg/L)にあるものの、他府県の河川に比べて低位にあります。大和川支川を含めると、これまで環境基準を達成出来てなかった地点もあります。また、河川にゴミが散乱し、水辺景観を損なっているところもあります。

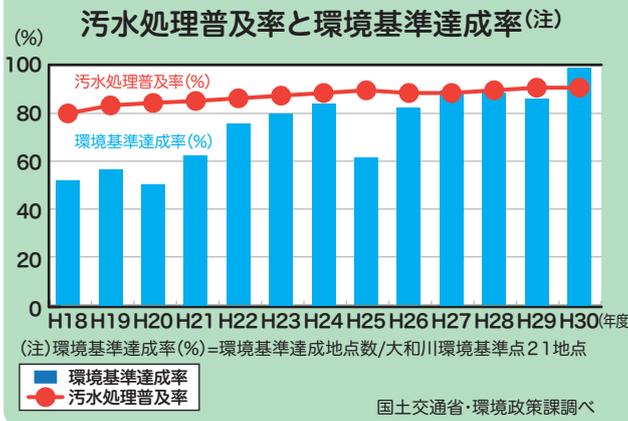
もっと良くするために

地域の人々と協働して、奈良県の中心部を流れる母なる川「大和川」できれいに暮らす奈良県スタイルを推進します。

目指す姿

平成30年度以降は大和川(支川含む)の水質BODにかかる環境基準達成率100%を維持します。

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の污水处理施設を利用できる人の割合は年々上昇しているんだ。



生活排水はきれいに処理されてから放流されるから大和川がきれいになります！
みんなで協力して川の清掃も頑張りましょう！



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
きれいに暮らす奈良県スタイルの推進	ジャーナル等の発刊による啓発 重点対策支川を対象に戸別訪問や出前講座等による啓発(市町村連携)		
合併浄化槽への転換促進、下水道への接続促進	合併浄化槽転換(市町村補助)・下水道早期接続啓発活動支援(市町村補助)		
大和川の水質改善	導水水量の確保により河川環境を改善		
地元自治会等が行う活動を支援(地域の河川サポート事業)	参加団体の増加に向けた働きかけ、PR活動等を実施		



(44) プラスチックごみの削減

これまでは

海洋プラスチックごみが地球規模で社会問題化しています。



- 道路、公園等へのポイ捨てによる景観の悪化
- 大和川流域の「ごみの花」
- 奈良公園内のプラスチックごみポイ捨てによる鹿の誤食



大和川流域

もっと良くするために

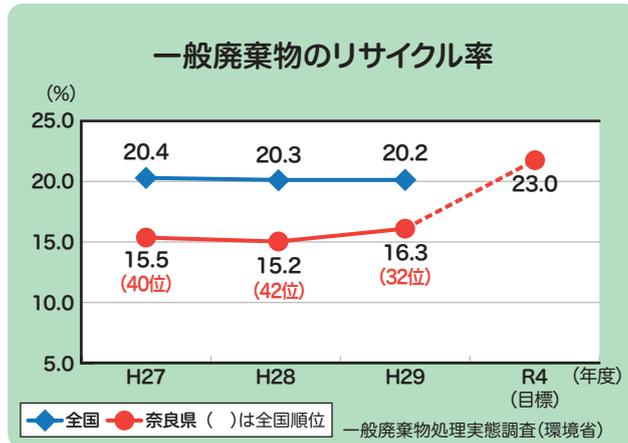
- プラスチックごみの実態の周知・啓発、事業者への指導・広報の強化を新たに進めます。
- これまで取り組んできた廃棄物の不法投棄、不適正処理の撲滅、排出抑制の促進、循環的利用の促進を引き続き実施します。

- ・「きれいに暮らす奈良県スタイル」を推進し、循環型社会の実現を目指します。
- ・大和川一斉清掃、吉野川マナーアップキャンペーンを継続して実施します。
- ・奈良のシカ保護の啓発活動を実施します。

目指す姿

令和4年度までに一般廃棄物の県全体のリサイクル率を23.0%にします。

プラスチックごみも、きちんと分別して正しくリサイクルすれば資源になる、そのことを繰り返し周知・啓発する必要があるね!!



そうすれば、プラスチックごみだけでなく、生活で出てくる色々なごみもリサイクルする意識が芽生えて、きれいな奈良県をつくれます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
プラスチックごみ対策の推進	環境イベント等を活用したごみ組成の調査、プラスチックごみの実態の周知啓発、事業者への指導・広報		
河川の美化対策	大和川一斉清掃、吉野川マナーアップキャンペーン、河川敷地の不法投棄の排除・撤去		
ポイ捨て、不法投棄の撲滅	「不法投棄ゼロ作戦」の推進、各種パトロールの実施、不法投棄ホットラインの運営		
きれいに暮らす奈良県スタイルの推進	河川清掃・植栽、マイバッグ運動等プラスチックごみ削減、監視パトロール、実践団体の表彰		



(45) 馬見丘陵公園の整備

これまでは

馬見丘陵公園(広陵町、河合町)は、かつて、全国都市緑化ならフェアの開催がありました。その開催をきっかけに、馬見丘陵公園を立派な公園にするべく、季節ごとの花のイベントをはじめ、質の高い花の公園を目指して力を注いできました。



馬見チューリップフェア
(4月)88,900人(※)



馬見花菖蒲まつり
(6月)20,100人(※)



馬見ひまわりウィーク
(7月末~8月上旬)39,600人(※)



馬見フラワーフェスタ
(10月)53,400人(※)



馬見クリスマスウィーク
(12月)37,700人(※)

(※)各イベントの令和元年度来園者数を示す

もっと良くするために

休憩施設や来園者のためのアメニティ環境、高齢者の方が運動できるような歩行環境、お出かけ環境を今後ともさらに整えていきます。

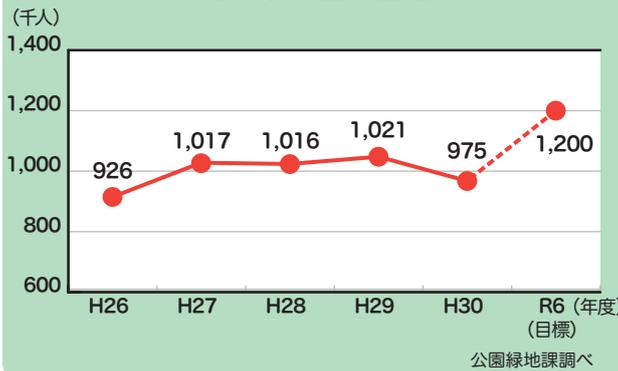
目指す姿

令和6年度までに馬見丘陵公園来園者数を年間120万人にします。

馬見丘陵公園の来園者数は年々増加しているんだ。お花は子供からお年寄りまで四季を通して楽しめるからね!



馬見丘陵公園来園者数



今後は公園に来てくれたみんながもっと快適に過ごせるよう、休憩所や電動カートの検討をするらしいです。お花を眺めながらゆっくり過ごせますね!



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
やまと花ごよみイベントの開催	季節に応じた花をテーマとしたイベント(年間5回)の開催、住民協働花壇の設置等		
花街道の創出	池部駅から北エリアまでの区間における花街道の創出		
園内移動支援の検討	園内移動支援のための電動カートの導入および運行		
魅力向上のための植栽の充実	花壇の増設、チューリップ等の増株		



(46) きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善

これまでは

水辺は、開放的な空間であるとともに、豊かな景観を構成する要素となっていることから、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の整備が求められています。

雑草や雑木が生い茂っているなど、景観的な魅力が乏しい箇所がある。また、水辺に近づきにくい状況になっている。



河川堤防の雑草による景観阻害
(大和高田市・高田川)

水辺は、身近な開放的な空間であるとともに、安全・快適で、潤いのある豊かな景観を構成する要素であり、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の形成が必要。



河川内の雑木による景観阻害
(奈良市・秋篠川)

もっと良くするために

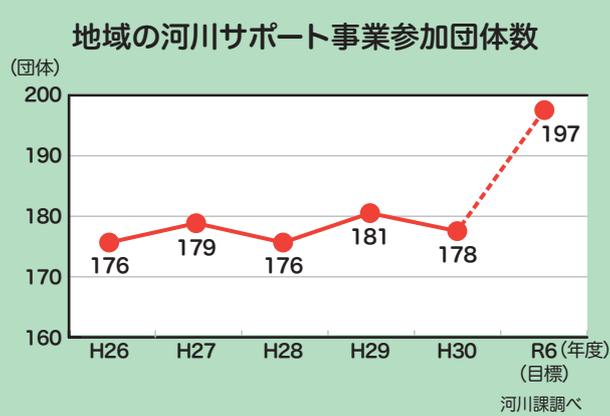
■水辺に親しめる親水空間の整備をさらに進めます。

- ・ 河川沿いの観光施設や親水公園を周遊するため、堤防を遊歩道として整備します。
- ・ 奈良県植栽計画に基づき、親水施設や河川沿いに花壇等を整備します。
- ・ 地元自治会等が行う花の植栽活動、除草、清掃等の活動を支援します。
- ・ 護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去を進めます。
- ・ 佐保川周辺のにぎわい創出を進めます。

目指す姿

令和6年度までに、地域の河川サポート事業の参加団体を197団体にします。

より良い河川空間を創出することを目的として、県が管理している河川で、花の植栽、除草、清掃等の活動を行っている団体に対し、報償金の支給や保険の加入等で活動を支援してくれるんだって！



活動内容にあった3つのプログラムがあって、地域の皆さんによる川づくりをサポートしてくれるんですよ。よし、みんなで川をきれいにしましょう！



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
遊歩道の整備	水辺に親しむ空間として堤防天端に遊歩道の整備		
奈良県植栽計画(なら四季彩の庭づくり)の推進	奈良県植栽計画に基づく、親水施設や河川沿いの花壇等の整備		
地元自治会等が行う活動を支援(地域の河川サポート事業)	参加団体の増加に向けた働きかけ、PR活動等を実施		
佐保川周辺のにぎわい創出	コンサート、展示、佐保川まちづくり塾、マルシェ等開催		



(47) 道路の無電柱化

これまでは

奈良県の無電柱化率は全国的に決して高くはありません。



これまでに県管理道路の約14km(道路延長)の無電柱化を実施してきました。【H30末時点】
県管理道路のうち約0.7%に留まっている状況です。



しかし、無電柱化の努力を続けています。

【対策前】



【対策後】



写真例:主要地方道奈良生駒線(大宮通り)(奈良市)

もっと良くするために

- 『奈良県無電柱化推進計画』に基づき、**無電柱化を強力に進めます。**
- 無電柱化計画における無電柱化重点対象道路
 - ・ 防災・・・緊急輸送道路、避難路
 - ・ 景観形成・観光振興・・・世界遺産や歴史・文化的風土形成地域
 - ・ 県と市町村とのまちづくり・・・県市町村がまちづくり上、必要性について合意した地域

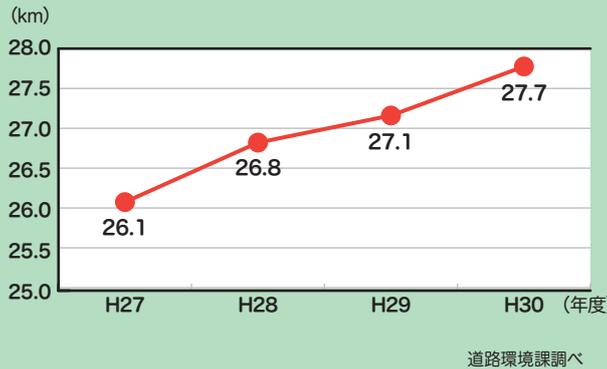
目指す姿

令和元年10月から**今後5カ年**で県管理道路の約**19km**の無電柱化の事業に着手(事業中の箇所を含む)します。

無電柱化の事業に着手し、県が電線共同溝を整備することで、はじめて電線管理者が、電柱を撤去することができるんだね!



電線共同溝の整備延長



そのとおり!無電柱化の実現には、県だけでなく電線管理者と連携して事業を進める必要があります。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
無電柱化事業の実施	低コスト手法など新技術の積極的活用		
関係者間の連携の強化	県と市町村とのまちづくり連携協定		
広報・啓発活動	勉強会の開催、パンフレットの配布		
無電柱化情報の共有	無電柱化に関する情報収集、国や他の地方公共団体との共有		



植栽整備による景観づくり(奈良市水上池)



馬見チューリップフェア(馬見丘陵公園)



吉野川マナーアップキャンペーン(吉野川)